

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|--|---|------------------|--|-----|--------|---------|
| 330411101 | 国語科(含む書写)研究 Research of Language arts | 宮武里衣 | | | 2 | 必修 | 1前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 前半は小学校学習指導要領の歴史と、現行の学習指導要領の内容、編集方針などを理解する。後半は、小学校学習指導要領と小学生用国語教科書を教材に、国語科の目標と内容を知り、文学的教材の中から一つ選んで学習指導案を作成する。後半は書写の指導の基本を学ぶ。本科目はディプロマポリシーDP②にある、人々の日常生活を衣の面から提案し支援できるようになるための科目として位置付けられる。担当教員は公立学校の教諭経験があり、実習を含む国語科教育の経験がある。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 小学校学習指導要領の歴史の変遷を理解する。 ② 現行の小学校学習指導要領を教材に、小学校国語科の目的と内容を知る。 ③ 学習指導案を作成する。 ④ 毛筆・硬筆の基本を理解し、手本を臨書する。 | | | | ① 小学校学習指導要領の歴史の変遷についての知識を獲得する。 ② 現行の小学校学習指導要領における国語科の目的と内容を知り、学習指導案に活用できる。 ③ 対象児童にふさわしい目標を設定し、単元計画を含めた学習指導案を作成することができる。 ④ 毛筆・硬筆の基本を獲得し、手本を臨書できるようにする。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、教科書等を使って自己学修することができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 目標達成に向けて課題を最後までやり抜くことができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 講義や教科書等で得た情報を客観的に整理し、グループ討議の中で、課題を見出すことができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 課題や問題提起に対して、さまざまな方向から柔軟に考え、自分なりの見解を持ち、実際に書いたり、読んだりすることができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを、的確な表現で発表することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 講義だけでなく、他者の意見をよく聴き、それらを元にした自分の見解を持つことができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 将来、教員として児童を指導するにふさわしい規律性を身に付ける。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 『新編 あたらしいこくご 一上』 東京書籍・『新しい国語 三上』 東京書籍・『新編 新しい国語五』 東京書籍 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』 文部科学省 東洋館出版 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| この科目は専門科目であり、小学校領域の教科及び教科の指導法に関する科目の一部である。この領域における基礎・基本となる知識・技能を習得し、その後に履修する「生活科研究」の基盤となる科目である。1年後期の「国語科教育法」に直接つながる科目である。小学校教諭免許との関連がある。 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 事前にテキストの該当範囲を必ず読んでおく。 評価の方法や対象は、前期開始時に説明しているので、レポートは、授業後ほどなく作成するのがよい。レポート作成のためにも、毎回の授業内容を「授業ポイント」としてまとめておくとスムーズに取り組める。 | | | | 遅刻3回で欠席1回とする。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|--|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | レポート | | 70 | ① | ✓ | ①学習指導要領の歴史を史実との関係をふまえてまとめたうえで、現行の小学校国語科教育の目的についての考察をレポートとして作成する。（知識の獲得20点） ②学習指導要領の目的に従って、「おおきなかぶ」の学習指導案を作成する。（知識の活用25点、知識の解決25点） |
| | | | | | ② | | |
| ③ | | | | | ✓ | | |
| ④ | | | | | ✓ | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 20 | ① | ✓ | ①硬筆の指導方法を理解して、臨書作品を作成し提出する。（知識の獲得・活用10点） ②毛筆の指導方法を理解して、臨書作品を作成し提出する。（知識の獲得・活用10点） | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | ③ | | | | | | |
| | ④ | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | （主体性）課題を行うのに必要な知識について、自己学修することができる。 （実行力）目標達成に向けて課題を最後までやり抜くことができる。 （課題発見力）情報を客観的に整理し、話し合い課題を見出すことができる。 （創造力）授業内容を受け、自分なりの見解を持つことができる。 （発信力）調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。 （傾聴力）講義や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。 （規律性）授業に集中することができ、提出物の期限を守ることができる。 ・上記の能力要素のレベルに則り評価する。 | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|--|
| <p>A (優) 学習指導要領の歴史の変遷を論理的な展開でレポートにまとめることができている。また、学習指導案の作り方を正しく理解し、児童の実態に合った内容で作成することができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが6割以上認められる。</p> <p>S (秀) Aの基準を十分満たしている上に、レポートには自分の考えを論理的に表現することができており、学習指導案には新しい知見が見られる。</p> | <p>B (良) 学習指導案の歴史の変遷を構成を考えた展開でレポートにまとめられる。また、学習指導案の作り方を理解していて、単元計画に矛盾がない。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが4割以上認められる。</p> <p>C (可) B基準を満たしていない。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--------------|---------------------------------------|--|-------|-------------------|
| 1 | ・授業の進め方。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて工夫する授業のイメージをもつ。 ・小学校国語科の内容を理解し、課題を知る。 | 講義 グループ討議 | ・授業の進め方を説明できる。 ・小学校国語科の課題を一つ説明できる。 | (予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 授業の振り返りをノートに整理する。 | 90 | 規律性 |
| 2 | 教育関係の法律や規則と学習指導要領との関連。 | 講義 グループ討議 | 学習指導要領の根拠がわかる。 | (予習) 教育基本法の前文を読んでおく。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント①」に整理する。 | 90 | 課題発見力 |
| 3 | 戦前の国語科学習指導要領の歴史と時代との関連。 | 講義 グループ討議 | 戦前の学習指導要領の目標の変遷を説明できる。 | (予習) 奈良時代から戦前までの日本史を調べる。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント②」に整理する。 | 90 | 課題発見力 傾聴力 |
| 4 | 戦後の国語科学習指導要領の歴史と時代との関連。 | 講義 グループ討議 | 戦後の学習指導要領の目標の変遷を説明できる。 | (予習) 戦後の日本史を調べる。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント③」に整理する。 | 90 | 課題発見力 傾聴力 |
| 5 | 国語科の領域と国語教科書の内容。 国語科の目標と指導事項。 | 講義 グループ討議 | 国語科の領域を理解している。 | (予習) 『学習指導要領解説小学校国語』の目標を読んでおく。 (復習) 授業の振り返りをノートに整理する。 | 90 | 主体性 課題発見力 |
| 6 | 国語の授業デザインの仕方① 学習指導案の概略と単元目標 以下教材は東京書籍小学校1年上より「おおきなかぶ」とする。 | 講義 グループ討議 | 学習指導案の単元目標の設定の仕方がわかる。 | (予習) 1年生の教材「おおきなかぶ」を読んでおく。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント④」に整理する。 | 180 | 主体性 計画力 創造力 |
| 7 | 国語の授業デザインの仕方② 単元観・児童観・指導観 | 講義 グループ討議 | 児童観の考え方を理解できている。 | (予習) 配布資料を読んで、評価の概要を知っておく。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑤」に整理する。 | 180 | 主体性 計画力 発信力 |
| 8 | 国語の授業デザインの仕方③ 本時の指導と言語活動 | 講義 グループ討議 | 単元計画が順番にできている。 | (予習) 「おおきなかぶ」の単元計画を考える。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑥」に整理する。 | | 主体性 実行力 発信力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|---|--|--|-------|----------------------------|
| 9 | 国語の授業デザインの仕方④ 児童の発達段階と単元計画 本時案について学ぶ。 | 講義 発表 ディスカッション | 単元計画が児童の実態に沿ったものになっている。 | (予習) 本時案を考える。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑦」に整理する。 (googleclassroomドキュメント提出) | 180 | 主体性 傾聴力 状況把握力 |
| 10 | 国語の授業デザインの仕方⑤ 板書計画と教具 | グループワーク 発表 ディスカッション | 板書計画の基本を理解している。 | (予習) 本時案をふまえて板書計画を考える。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑧」に整理する。 | 180 | 主体性 課題発見力 状況把握力 |
| 11 | 学習指導案の発表① 単元観、指導観、児童観をグループで発表する。 教材研究の仕方を確認する。 | グループワーク 発表 ディスカッション 提出された学習指導案 | 学習指導案の要点を理解している。 | (予習) 発表に向けて準備を整える。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑨」に整理する。 | 180 | 主体性 創造力 ストレスコントロール力 |
| 12 | 学習指導案の発表② 単元計画の発表 本時案をグループで発表する。言語活動の有効性を検証する。 | 講義 グループワーク ディスカッション | 本時案を発表できる。 | (予習) 学習指導案の発表の方法を考える。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑨」に整理する。 | 200 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 13 | 書写(硬筆)の基本的な指導法を理解し、書写を行う。 | 講義 作品制作 | ・鉛筆の正しい持ち方の指導ができる。 ・指示された書き方で手本を書写できる。 | (予習) 鉛筆の正しい持ち方を調べる。 (復習) 硬筆作品を作成する。 | 180 | 主体性 計画力 創造力 規律性 |
| 14 | ・毛筆の基本的な指導法を理解する。 ・毛筆での「縦画・止め・はね・払い」の書き方を理解し、書写を行う。小筆による名前の書写を行う。 | 講義 作品制作 提出された硬筆作品の解説 | ・「土」を書く時の留意点が説明できる。 ・指示された書き方で手本を書写できる。 | (予習) 毛筆「土」の指導の留意点を調べる。 (復習) 授業の振り返りを「授業ポイント⑩」に整理する。 | 180 | 主体性 計画力 創造力 規律性 |
| 15 | ・模擬授業のビデオを見て、授業デザインの工夫について、参考になったことをまとめる。 | オンデマンド | ・ビデオの内容をまとめることができる。 | (予習) 効果的な授業デザインのポイントをまとめる。 (復習) 振り返りを整理する。 | 120 | 主体性 課題発見力 発信力 柔軟性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力